



奉獻
明治十七歲
甲午四月吉日

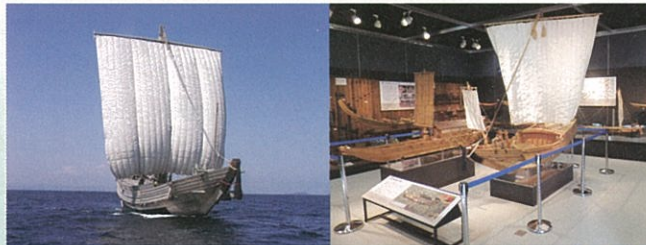
石川縣加賀國
家老町 玄田權治良

船絵馬 (青森県鯉ヶ沢町白八幡宮蔵)

神奈川県日本常民文化研究所 第18回常民文化研究講座

船模型・船図・船絵馬

— 和船資料の保存と活用 —



復元弁才船みちの丸の帆走

企画展「近藤友一郎和船模型の世界」

基調講演

昆 政明 「復元弁才船の帆走と海事資料の活用」

パネル報告

真島 俊一 「近藤和船研究所の資料とその特長について」
小堀 信幸 「海事資料保存の現状と課題」
神野 善治 「船霊と船の祭り— 船の民俗学—」

総合討論

コーディネーター 小島 孝夫

●お問合わせ：神奈川県日本常民文化研究所 TEL. 045-481-5661 (代)

2014. 11/15 (土)

13:00-17:00

神奈川県 横浜キャンパス
3号館 305 教室

参加
無料

主催：神奈川県日本常民文化研究所

船模型・船図・船絵馬

—和船資料の保存と活用—

日本常民文化研究所は、創設以来海村資料による海域海民史研究に先駆的役割を果たしてきた。中でも当研究所財団の初代理事長を務めた桜田勝徳は、日本各地に残る木造漁船の船名を収集整理した「船名集」や、北陸山陰地方の漁村に残る木造漁船の中央断面構造の分析から和船の発達過程を論じ、現在の和船研究の基礎を築いたといえる。

このたび、船大工の経験を生かし和船研究の成果を船舶模型の製作により発表してきた近藤友一郎氏が開設した「近藤和船研究所」の資料が当研究所に受け継がれ、その一部を紹介する企画展「近藤友一郎和船模型の世界」が開催されている。

近年、菱垣廻船実物大復元船を展示していた大阪市の「なにわの海の時空館」や青森市の「みちのく北方漁船博物館」が相次いで閉館するなど、和船資料の保存には困難な情勢となっている。そこには、船という大型資料のもつ特有の問題点も垣間見られるが、海そのものに対する関心の希薄さも感じられる。

そこで、本年度の常民文化研究講座ではこれらの問題点を念頭に、和船研究のこれまでを振り返り、実物資料とともに和船研究にとって重要な模型・図面・絵馬をはじめとする絵画資料に焦点を当て、それらの調査、収集、保存と活用について検討を加えたい。

講師紹介

● 昆 政明

(神奈川県日本常民文化研究所 神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科教授)
1950年青森県生まれ 民具学 「ドゲブネを(洞海船)をめぐる諸問題」(『青森県立郷土館紀要』第35号 青森県立郷土館 2011年)、「青森県の船絵馬」(『青森県立郷土館紀要』第35号 青森県立郷土館 2012年)、「北日本の伝統的木造漁船の船体構造の変遷過程」(『環太平洋における伝統的造船技術の比較研究』国際常民文化研究叢書5 神奈川大学国際常民文化研究機構 2014年)

● 真島 俊一 (株式会社 TEM 研究所所長)

1947年栃木県生まれ 生活学・民具学・建築学・道具学 『台所の百年』(編共著 ドメス出版 1999年)、『生活学事典』(共著編 TBS プリタニカ 1999年)、『棚田の謎 千枚田はどうしてできたのか』(共著 農山漁村文化協会 2003年)

● 小堀 信幸 (船の科学館学芸部調査役)

1949年神奈川県生まれ 水産資源学 『未来につなぐ人類の技①航空機の保存と修復 二式大艇保存の記録』(エディコム 2000年)、『未来につなぐ人類の技②船舶の保存と修復 船の保存の現状と課題』(東京文化財研究所 2002年)、『アサヒグラフ 10.6 百年の記憶 飛行艇 日本が誇った航空技術の粋』(朝日新聞社 2000年)

● 神野 善治 (武蔵野美術大学教授)

1949年東京都生まれ 日本民俗学・博物館学 『釜漁の研究』、『沼津市歴史民俗資料館紀要』6・7 (日本民俗学会奨励賞受賞 1983年)、『人形道祖神 境界神の原像』(柳田賞受賞 白水社 1996年)、『木霊論 家・船・橋の民俗』(白水社 2000年)

コーディネーター紹介

● 小島 孝夫 (成城大学教授)

1955年埼玉県生まれ 日本民俗学 『海と里』(共著 吉川弘文館 2008年)、『半島のくらし—広域民俗誌の試み—』(共編 慶友社 2009年)、『クジラと日本人の物語—沿岸捕鯨再考—』(編著 東京書店 2009年)

- お申し込み 「11月15日(土)常民文化研究講座 参加希望」を明記の上、
①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④連絡先電話番号を記載し、
メール、FAXまたは葉書にて、**11月10日(月)まで**にお申し込み下さい。
当日参加も歓迎いたしますが、定員(150名)に達し次第締め切らせていただきます。
- 宛 先 メール: jomin-kouza18@kanagawa-u.ac.jp、FAX: 045-413-4151 または葉書にて、〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学日本常民文化研究所 宛
- お問合わせ 神奈川大学日本常民文化研究所 TEL. 045-481-5661 (代)
※お申し込みの際にいただいた個人情報は講座の実施・運営にのみ使用いたします。

神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1
Tel: 045-481-5661 (代)
<http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/>

■交通アクセス

- 東急東横線「白楽駅」下車 徒歩13分
 - 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バス利用(東神奈川駅西口経由 約15分)
【1番乗場36系統】菅田町/緑車庫行「神奈川大学入口」下車
【1番乗場82系統】八反橋/神大寺入口行「神奈川大学入口」下車
 - 横浜市営地下鉄片倉町駅前より横浜市営バス利用
【2番乗場36・82系統】東神奈川駅西口/横浜駅西口行「神奈川大学入口」下車
- ※駐車場がありませんので、自家用車の利用はご遠慮ください。

